

保護者各位

ケンタッキー州の生徒は、2021年の春に Kentucky Summative Assessment (KSA) (和訳：ケンタッキー総まとめテスト)を受けました。以前、これらのテストは Kentucky Performance Rating for Educational Progress (K-PREP) (和訳：ケンタッキー州教育進歩評価)と呼ばれていました。これらのテストは、ケンタッキー州の教師によって作成され、各分野の内容は、ケンタッキー教育基準に準拠しています。現行の基準を定例評価することから、KSAの名前が適用されました。

KSAはケンタッキー州の公立学校の生徒3年生から8年生、10年生および11年生を対象におこなわれる年次総まとめテストです。

オンラインテスト — 内容と対象学年

- 学校風土の質と安全性に関するアンケート調査 (20分) : 3年生~8年生、10年生、11年生
- リーディング (60分) : 3年生~8年生、10年生
- 数学 (60分) : 3年生~8年生、10年生
- 理科 (60分) : 4年生、7年生、11年生
- オンディマンドライティング (90分) : 5年生、8年生、11年生

これらのテストは、ケンタッキー州の学習内容基準に基づいた生徒の習熟度と進歩を測定するものであり、これらの学習内容基準は、すべての生徒が各学年で知るべきこと、および能力の目標として確立されたものです。KSAがオンラインで実施されたのは今回が初めてで、ペーパーテストを受けた生徒はごくわずかでした。また、このテストは単なる多肢選択問題だけに限らず、生徒が書面で回答する拡張回答や、生徒がコンピューターで情報入力を行うことで批判的思考と問題解決スキルを評価する技術強化問題などが含まれます。

今回、生徒のテスト結果を確認する際、新型コロナウイルスの為に生徒および学校が直面した、今までには見る事がなかった多くの至難と今学年度の学習環境や経験などを考慮することが重要になります。

この年次評価は、生徒の学習状況に関する重要な情報を提供しますが、教育上の方向性を決定する際の単一評価手段であってはなりません。評価結果は生徒の学習状況を測定する手段の一つであることを認識しておくことが重要ですが、成績、教室内での活動、ユニットクイズおよびテスト、学区レベルの評価、年度末評価などを併用することで、より完全な今学年度の生徒の習得成果の全体像と学習内容基準に基づいた学問的成功を得るための今後の方向性を見極めることを可能にします。

これらの州の評価は、ブーンカウンティスクール学区の新型コロナウイルスからの学力回復の取り組みの一環として、生徒がどのように学問的な成果を上げたかをより良く理解するための戦略の一つであり、得られたデータは、学区が生徒の学業上のニーズをより適切に追跡し対処するために必要な随時の「ステータスチェック」に利用することを可能にします。

テストスコアは9月29日(水)に公開されます。私たちの学区と特定の学校の受験状況と成績を確認するには、[School Report Card](#)にアクセスしてください。